

平成 21 年 7 月 8 日

2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」  
第 7 回議事録

開催日時：平成 21 年 5 月 7 日 17:15～20:00

開催場所：建築会館会議室

出席委員：浅野主査、五十田幹事、藍原委員、伊香賀委員、大熊委員、久保山委員、小瀬委員、小林委員、坂牛委員、清家委員、槌本委員、恒次委員、中島委員、山羽委員、高村（記）（WG 委員を含む）大城氏、大津氏（オブザーバー）

配布資料：

- 7-0 木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会＋ワーキンググループ 第 7 回 議事次第（五十田幹事）
- 7-1 2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」第 6 回議事録（高村）
- 7-2 建築におけるバイオマスの利活用（浅野主査）
- 7-3 AIJ バイオマス 打合せメモ（中島委員）
- 7-4 AIJ バイオマス（つくば会議）（小林委員）
- 7-5 建築における木質バイオマスの利活用に向けて（小林委員）

議事：

(1) 前回議事録の確認

資料 7-1 にもとづき前回議事録の確認を行い異議なく了承された。

(2) WG の活動について

(2)-1 マテリアル利用・再生 WG、バイオマスエネルギー利活用 WG（中島委員）

4 月 23 日に主査と幹事と数名の委員で打ち合わせを行い、その結果をもとに本日（5/7）に WG を開催した旨報告があった。

(2)-2 建物地域システム検討 WG（五十田幹事）

事例収集を実施中である旨報告があった。

(3) WG の進め方について

マテリアル利用・再生 WG とバイオマスエネルギー利活用 WG は今後も共同で行う。WG と本委員会是一緒には行わずこれまでと同様に WG のみの活動も行う。

(4) 環境工学連合講演会について（浅野主査）

浅野主査より資料 7-2 にもとづき環境工学連合講演会での発表について紹介があった。木材の LCA や地場産材を使用した住宅における地場産材の使用量などについて紹介があった。

(5) パネルディスカッションについて（五十田）

五十田幹事より資料 7-0 にもとづきパネルディスカッション（案）の説明があった。2010 年度の大会で実施する。また、海外からの招待公演を行うことも検討する。その場合、国際交流基金の申請について考慮する。今後も引き続き五十田幹事に企画の検討をしていただく。

(6) コンペについて

本委員会によるコンペを行うことについて検討した結果、行わないこととした。

(7) 報告書の内容について（五十田）

五十田幹事より資料 7-0 にもとづき報告書の内容について説明があった。五十田幹事からの案は次の通り。①発生量を明らかにする（樹種、太さ、場所など）、②不足している情報を明らかにする、③有効利用している事例をまとめる。浅野主査からはグローバルな視点から今後研究する人たちへのキーワードとなるような情報提供が必要との意見があった。統計データの取り扱う範囲については WG で検討することとした。

(8) 建築を中心とした木材のマテリアルフロー分析、炭素フロー分析、シナリオ分析について（小林）

小林委員から資料 7-5 の内容について説明があり、本特別委員会の最終成果の方向についてご検討いただきたいとの意見があった。

また、委員から以下の意見があった。

- ・本資料を充実させて本委員会の成果物の一つとする。
- ・木材の対象は建築用材とする。
- ・時間軸や主伐と間伐の区分や最終処分量などについて検討を行う。
- ・解体への矢印は他の矢印とは扱いを変える。
- ・林地残材についても検討する。

(9) 今後の進め方

- ・報告書の目次について各 WG の主査と連絡を取り作成する（五十田幹事）。
- ・来年度以降の委員会の継続について次回委員会で決定する。

(10) 次回・次々回委員会

次回：7月8日（水）17：00 から

次々回：9月24日（木）15：00 から